

事業報告書

自治体名

東京都

【基本情報】

フリガナ	ニホンマーキュリーカブシキカイシャ
法人名	日本マーキュリー株式会社
フリガナ	グループホームアンス
事業所名	グループホームあんず
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
共同生活援助	
職員数(常勤換算数)【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
17.2 人	
ICT機器等導入完了日	令和 8年 1月 31日

※行・列の追加は行わないでください。

(1)モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
勤怠管理	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
シフト表作成	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
給与業務	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない(紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

(2)モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	③業務の統合化	Dell 16 DC16250 ノートパソコン	2	
②スマートフォン	②情報の共有化	iPhone 16e 128GB ホワイト	8	
③タブレット	②情報の共有化	iPad Wi-Fiモデル 128GB - シルバー	8	
⑦Wi-Fiルーター	①作業の迅速化	Wi-Fiルーター	5	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3)モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D(B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	17人	30件	360件	20分	120時間	7時間	
③請求業務	4人	35件	420件	60分	420時間	105時間	
④勤怠管理	4人	30件	360件	30分	180時間	45時間	
⑥給与業務	3人	100件	1,200件	60分	1,200時間	400時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		195件	2,340件	170分	1,920時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D(B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	17人	30件	360件	5分	30時間	2時間	
③請求業務	4人	35件	420件	20分	140時間	35時間	

④勤怠管理	4人	30件	360件	10分	60時間	15時間	
⑥給与業務	3人	100件	1,200件	30分	600時間	200時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		195件	2,340件	65分	830時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

年間業務時間数削減率(%)

56.8%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率(%)

#DIV/0!

(4)ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

当事業所では、職員の業務負担軽減および入居者支援の質向上を目的として、ICT機器の導入を段階的に推進した。
 まず、職員間で現状の業務課題（記録業務の煩雑さ、情報共有の遅れ、夜間の安全管理等）を洗い出し、それらを解決する手段としてICT機器の選定を行った。
 導入にあたっては、iPhone・iPad・ノートパソコンを活用し、記録や連絡業務のデジタル化を進めるとともに、入居者管理のウェブシステムを導入することで情報の一元管理を実現した。また、事業所内にWi-Fi環境を整備し、どの場所からでも円滑にシステムへアクセスできる体制を構築した。さらに、防犯カメラの設置により、夜間や緊急時の安全確認体制の強化を図った。
 推進にあたっては、ICTに不慣れな職員も多かったため、操作マニュアルの作成や研修を実施し、段階的に運用を開始した点を工夫した。一方で、機器操作への習熟や従来業務からの移行に時間を要したことが課題であったが、職員間でフォローし合う体制を整えることで円滑な導入につなげた。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
 また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

TRUE	FALSE
FALSE	FALSE
FALSE	TRUE
TRUE	TRUE
FALSE	TRUE
FALSE	FALSE
FALSE	FALSE

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

ICT機器の導入により、これまで紙や口頭で行っていた記録・情報共有業務のデジタル化が進み、業務効率が大幅に向上した。iPhoneやiPadを活用することで、支援記録をその場で入力・共有できるようになり、転記作業や記録漏れが減少した。
 また、入居者管理のウェブシステムの導入により、入居者情報や支援内容を一元管理できるようになり、職員間の情報共有が迅速かつ正確になった。これにより、申し送り時間の短縮や確認作業の削減につながっている。
 加えて、防犯カメラの設置により、夜間巡回時の負担軽減や安全確認の効率化が図られ、職員の心理的負担の軽減にもつながっている。
 これらの取り組みにより、職員の事務作業時間が削減され、入居者支援に充てる時間の確保が可能となり、サービスの質の向上にも寄与している。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

ICT機器の導入により、記録業務や情報共有にかかる時間が削減されたことで、職員が入居者と直接関わる時間をより多く確保できるようになった。
 具体的には、入居者一人ひとりのコミュニケーションの時間を増やし、日常生活における困りごとの把握や心身の状態変化への早期対応が可能となっている。また、個別支援の充実を図るため、生活支援や相談支援に充てる時間を確保し、よりきめ細やかな支援の提供につなげている。
 さらに、職員間でのケース検討や支援方針の見直しに時間を活用することで、支援の質の向上およびサービスの均質化にも寄与している。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5)ICT機器等の導入による費用面での効果


ICT機器等の導入による費用の縮減 有

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額(円)	1,400,000円
職員の質上げ等への充当	有
その他職場環境の改善への充当(※1)	無
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	無

(※1)「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

A large yellow rectangular box with a black border, positioned below the instruction text. It appears to be a placeholder for the specific content required by the instruction.